

## ～おひさんキュウリ～

### 【概要】

敦賀市では、昔からキュウリの生産が盛んで、「敦賀キュウリ」の産地がありました。しかし、高齢化の影響で平成 15 年をピークに産地が衰退していました。

平成 27 年度以降、JA 敦賀美方と二州農林部がハウス導入や産地範囲を敦賀市中心から美浜町や若狭町に拡大することを推進しました。それに伴い、愛称が「敦賀キュウリ」から、「おひさんキュウリ」に変更され、JA 敦賀美方での共同出荷が始まりました。出荷箱に使われている平箱は見映えが良く、福井県産キュウリの中でも高い市場評価を得ています。

現在の「おひさんキュウリ」の多くは、ヤシ殻培地を使った養液栽培によって栽培されており、令和 4 年度からは、この栽培方法による大規模施設法人が設立しました。ヤシ殻培地を使った養液栽培は、新規就農者でも取り組みやすいため、今後も産地拡大が見込まれます。

※JA 敦賀美方：現在は合併して JA 福井県

【主な栽培地区】敦賀市（山泉）、美浜町（河原市）

【生産者】12名（R5）

【出荷量】72.3t（R5）



おひさんキュウリの平箱



ヤシ殻培地によるキュウリ栽培